

横浜市営地下鉄3号線の延伸と新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりについて

平成29年度要望事項

●要望1：横浜市営地下鉄3号線あざみ野以遠の延伸の促進について

横浜市営地下鉄3号線あざみ野以遠の延伸については、麻生区民の多くが長年にわたり要望しているものです。

今年度、川崎市では調査費として1千万円の予算が計上され実現に向けた具体的な検討がスタートしたと理解しております。新聞報道などによりますと、平成30年度末までに事業主体である横浜市は事業化の可否について結論を出す予定とうかがっております。

川崎市としても新百合ヶ丘駅周辺は広域拠点として整備を進めることが総合計画に明記され、市長の平成29年度施政方針にも横浜市営地下鉄3号線の延伸に向けた取組みが打ち出されております。

是非とも、早期実現に向けて全市を挙げた取組みを切に要望するものです。

また、当該事業の進捗状況などについて、随時、情報提供していただければと思いますので、この点につきましてもご配慮・ご検討をお願いするものです。

●要望2：新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりについて

新百合ヶ丘駅周辺は、平日の朝晩の通勤時間帯や土曜・日曜・休日などにおいて慢性的な交通渋滞が発生しており、対策として交差点や車線の改良、駅南口ロータリーのスロープの撤去によるタクシーや一般車の車線整理などが行われてきましたが、抜本的な解決に至っておりません。

また、駅北口周辺道路の渋滞は、麻生消防署からの緊急車両の出場に影響を及ぼし、時間帯・曜日によってはすぐに出場できない状況が散見されています。

横浜市営地下鉄3号線が延伸され新百合ヶ丘駅へ乗り入れることとなった場合には、交通利便性の向上から新百合ヶ丘駅周辺は更に人口の増加が見込まれます。

要望1でも述べたとおり、新百合ヶ丘駅周辺を広域拠点と位置付け、ターミナル機能を強化した整備を進めるに当たり、駅北口の再開発は必須と考えます。その検討を進めるとして区役所・市民館・消防署の移転を含めた市有地の有効活用は重要な課題と考えます。

新百合ヶ丘駅周辺を更に魅力と活力のある川崎市の北部における広域拠点とするために、川崎市としてどのようなビジョンをお持ちなのか、またどのように事業を展開していく予定なのか、お示しください。

回
答

【回答】

■要望1：横浜市営地下鉄3号線あざみ野以遠の延伸の促進について

横浜市営地下鉄3号線の延伸については、平成30年度末までに、横浜市による事業化判断を行うこととなっております。

本市においても、横浜市における延伸に関する調査検討と連携しながら、本市にとってメリットの大きい計画となるよう、様々な観点から検討を進めてまいります。

(まちづくり局交通政策室)

■要望2：新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりについて

新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりにつきましては、横浜市営地下鉄3号線の延伸に伴うターミナル機能の強化は、広域拠点として大変重要な要素であると認識しております。そのため、駅周辺のまちづくりに関して、新百合ヶ丘駅北口を含め、3号線延伸を想定したターミナル機能整備や土地利用更新の方向性などについて基礎的な調査を行い、将来を見据えたまちづくりのあり方を検討してまいりたいと考えております。

(まちづくり局市街地整備部地域整備推進課)

※上記回答に関する問い合わせ先

要望1 まちづくり局交通政策室 担当井口（電話）200-3546

要望2 まちづくり局市街地整備部地域整備推進課（電話）200-3011